

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001047
事業所名	グループホーム 荒子の郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 町内会に加入し、回覧板や運営推進会議等で情報を得たり、施設からの情報を発信している。地域の祭りや盆踊り、運動会などの行事に積極的に参加したり、施設内行事のクリスマス会や夏祭りには、子供会や町内地域から参加があり賑わいを見せている。地域住民を対象とした、介護やおむつ交換の講習会を開催したり、区からの要請で認知症の指導者として講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動をしている。中学生の体験学習を受け入れている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 入居者家族や地域代表(町内会・子供会)民生委員、医師、薬剤士、行政、職員等の参加のもと、年6回定期的に開催されている。会議は、ホーム内の活動室で行われ入居者の生活状況の理解に役立てたり、手作り食の試食会や防災について、認知症についてなど、テーマを設けて運営するなど工夫が見られる。施設代表が医師であり、毎回の出席があることから認知症についての質疑も多くある。出された意見や要望は協議され、実現に向けた取り組みを行っている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 申請更新に入居者と同行したり、代行で市の窓口を訪れる場合は情報提供やアドバイスを受けている。事業所の代表が認知症専門医であり、市の研修等を受け持ったり、管理者は区からの要請で認知症指導者として講習会の講師を務めている。また、区内の認知症連絡協議会に参加するなど協力関係を深めている。職員は市や包括支援センターでの研修会等には積極的に参加している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 入居者からは日々のケアの中で、思いや意向を聞き、家族からは面会や行事の折に積極的に意見や要望を聞いている。記録をし、職員間で話し合いケアや運営に反映させている。年1回の家族アンケートを実施したり、ご意見箱を設置している。写真や手紙を添えた家族向けのホームだよりを毎月発行したり、メールやラインでも遅滞なく情報提供をするなどで家族からの安心を得ている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○			